

会 議 録

会議名	辰野町文化財保護審議会（第1回）
開催日時	令和元年6月26日（水） 午後2時00分～午後5時00分
場所	町民会館 104号学習室
出席者	14名中 14名（審議委員10名、事務局4名）

会議次第	<p>※午後2時～3時30分 会議に先立ち、現地視察を実施（沢尻東原遺跡、薬王寺）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 任命書交付 3. 教育長あいさつ 4. 会長の選任について 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化財保護事業 経過報告 事業計画について (2) 本年度の主な事業について <ul style="list-style-type: none"> ・ 沢尻東原遺跡発掘調査について ・ 矢彦神社改修について ・ シダレグリ自生地 of 保存管理について (3) 油屋について (4) 『辰野町資料』の刊行計画について (5) 文化財パトロールについて (6) その他 6. その他 7. 閉会
------	---

会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 任命書交付 任期：令和元年度～令和2年度 3. 教育長あいさつ 4. 委員長の選任について 委員長：三浦孝美氏 職務代理者：三輪憲昭氏 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化財保護事業 経過報告 事業計画について <ol style="list-style-type: none"> ① 文化財保護審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋ごろ：文化財パトロール ・ 秋ごろ：『辰野町資料』120号発行 ・ 11月：文化財保護審議会（第2回） ・ 11月：県文化財保護研修会 ・ 冬ごろ：『辰野町資料』121号発行 ・ 3月：文化財保護審議会（第3回） ② 文化財保護活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月10日：油屋保存会総会 ・ 4月12日：油屋清掃作業 ・ 5月11日：油屋清掃作業 ・ 5月16日：十一面観音拝観 ・ 6月9日：油屋清掃作業 ・ 6月21日：十一面観音拝観 ・ 7月9日：県文化財パトロール ・ 7月12日：油屋清掃作業 ・ 7月28日：蛇石コケ落とし ・ 8月2日/5日：新任教職員研修 ・ 8月24日：十一面観音拝観 ・ 9月13日：油屋清掃作業 ・ 10月11日：油屋清掃作業 ・ 11月1日～7日：文化財保護強調週間
------	---

- ・ 11月 9日：油屋清掃作業
R2年
- ・ 1月26日：第65回文化財防火デー

③小野宿問屋保存会

- ・ 月1回の定例公開の実施
- ・ 4月 6日：保存会全員作業・総会
- ・ 4月 7日：春季特別公開
- ・ 5月26日：小野宿市
- ・ 7月初旬：庭木剪定（シルバー委託）
- ・ 8月 4日：夏季公開講座・夏季特別公開
- ・ 10月18日：研修視察
- ・ 11月 3日：秋季特別公開
- ・ 12月上旬：冬籠り作業
- ・ 12月下旬：しめ縄飾り付け
R2年
- ・ 3月 : 役員会

④辰野町石造物調査会

- ・ 4月25日：役員会
- ・ 5月18日：総会
- ・ 5月23日：郷土を知ろう（協力）
- ・ 5月30日：郷土を知ろう（協力）
- ・ 6月13日：郷土を知ろう（協力）
- ・ 6月27日：郷土を知ろう（協力）
- ・ 7月11日：郷土を知ろう（協力）
- ・ 9月12日：郷土を知ろう（協力）
- 10月 4日：研修視察
- ・ 10月10日：郷土を知ろう（協力）
- ・ 秋ごろ : 上伊那郷土研究交流の集い
R2年
- ・ 3月 : 役員会

⑤小野のシダレグリ自生地保全友の会

- ・ 月1回の手入れ作業（支障木・藪切り作業、外来種除去、下草刈りなど）
- ・ 7月 8日：視察研修（下呂市）
- ・ 8月 5日：保護監視作業
R2年
- ・ 3月 : 総会

(2) 本年度の主な事業について

● 沢尻東原遺跡発掘調査について

工業団地への企業誘致のため、遺跡範囲確定のための試掘調査をこれまで数年かけて町で少しずつ実施してきた。平成30年度に、本格的な企業誘致のために対象範囲すべての調査を実施したいという話が町長部局からあり、のべ2.2万平米を今年度1年間で調査することになった。長野県埋蔵文化財センターへ全面委託。委託費は1億5千万円。

質問：視察の際、出土遺物はいずれ町の財産になると県埋蔵文化財センターの方が言っていたが、その場合町に収蔵施設はあるのか？

→平成元年から希望しているが予算もなく実現していない。長期計画に入れてもらい、建てる後押しを審議会でもしていくべきでは。現在、文化財調査センターで古文書や町の文化財を預かっているが、温湿度管理や防火管理のことを思うと心もとない。

→収蔵施設について、これまでどのような流れで、どう要望されてきたかがわかる資料を次回審議会までに用意する。

● 矢彦神社の補修について

5年間かけて建物の補修をしている。令和元・2年度の2年で神楽殿の修復を完了する予定だったが、県補助金の額に余裕が出たため、工事を前倒しして今年度で完了することになった。回廊に雨漏りによる傷みがあるため、その修繕費を令和2年度に県補助金申請することを検討中。

神社建物の補修が完了したら、塩尻市とも協力して社叢の保存管理計画を策定したい。

質問： 矢彦神社の補助割合は？

→ 工事総額の半分を県、5%を町が負担している。

● シダレグリ保存管理委員会について

友の会の年間保全活動について、平成30年度末に、保存管理計画に基づき県へ現状変更申請を提出した。

今年度は、以下の2つを同時進行で実施する予定。

① 友の会の年間作業：下草刈り、低木・シダレグリ幼木の除伐、外来種抜き取り

これまで通り、月1回作業を進めていく

② 友の会の作業とは別で実施する事業：支障木や下草の大規模な除伐・搬出

県の森林税を活用して実施したいと考えている。上伊那地域振興局と調整中。

制度上実施に無理があるなら、文化庁の補助金を来年度活用できるよう検討する。

令和2年度にシンポジウムを実施予定。ちょうど天然記念物第一号指定から100年目の節目となる。

質問： シダレグリ幼木の伐採について、幼木がどういう状態になったら伐採するのか？あまり早いうちに伐採しなくても、自然淘汰もある程度見込んだほうがいいのか？

→ その通りだと思う。草刈りの際、誤って刈ってしまう可能性を考慮して申請した。草刈りの際は目印をつけ、成長を見守りながら管理していきたい。

(3) 油屋について

町に修繕の予算がないため、毎年少しずつ部分的に修繕をしていく計画。今年度は落ちている天井の修理と、玄関を大戸に作りかえる計画。また、表のアルミサッシを保存会手づくりの格子で覆う計画を立てている。信州大学工学部の土本先生が、油屋を信大建築学科学生さんの実習の場としてくれているため、その兼ね合いを見ながら今年度中には実施したい。

保存会は現在、ボランティアで活動している（町からの委託費などはない）。小野宿市の際、保存会が自主的に募金活動をして、建物保存や活用に役立ててくれている。両小野中の生徒さんも学習の場として活用してくれている。

(4) 『辰野町資料』について

今年度で120号、121号を発行予定。

(5) 文化財パトロールについて

これまでは町内を3地区に分け、それぞれ担当を決めてパトロールを実施していたが、今年度は地区ごとの担当を設けず、行ける人全員で3地区をまわることにする。会長と事務局で日程を相談し、委員の皆様にお知らせする。（実施は秋頃）

意見： 昨年度のパトロールの際、文化財の説明板に汚れが見られるので次回パトロールの時に掃除をしたらどうか、という話が出ていた。どんな道具や薬品で拭いたらいいか、事務局で調べて欲しい。また落下してしまった説明板を留める接着剤や、汚れを防ぐ方法なども用意して欲しい。

→ 洗剤や接着剤を事務局で用意する。

傷んだ説明板や標柱は毎年予算を取って少しずつ直している。今年度は「木地師の墓」の柵を修繕予定。

(6) その他

● 明倫館の説明板設置について

指定・登録文化財については町の予算で説明板を設置しているため、昨年度登録有形文化財となった「明倫館」についても町で設置する。

● 宮所の古道について

不明瞭になっている箇所がある。急傾斜地の工事には区も立会い、図面もあるはずだがよくわからないので報告まで。竜ヶ崎の公園付近も。

6. その他

7. 閉会